



第29回光学薄膜研究会開催のご案内

2018年度 第2回 光学薄膜特別セミナー、および研究会を下記の通り開催致します。皆様のご参加をお待ちしております。

- ◆日時 : 2018年7月9日 (月)
- ◆場所 : 機械振興会館 (〒105-0011 東京都港区芝公園 3-5-8)

1. 研究会主催光学薄膜特別セミナー (10:00~12:00)

- ・受付 : 9:30~10:00
- ・題目 : 「複屈折性光学薄膜—膜構造を中心に—」
- ・講師 : 神戸芸術工科大学 名誉教授 小倉繁太郎氏
- ・部屋 : 地下3階 会議室1
- ・定員 : 約30名
- ・対象者 : 事前申込による希望者のみ
- ・参加費 : 会員 : 2,000円/人 非会員 : 3,000円/人
- ・概要 : 前回の雪の結晶の話を受けて、今回からあと数回光学薄膜の構造について、特に我々が従来扱ってきた等方的な光学薄膜とは異なる、複屈折性の異方性薄膜を扱っていきたいと考えています。等方的な膜材料であっても、柱状構造が成長し、これから意図的に斜蒸着法で2軸異方性膜が得られることが知られています。この様にバルク結晶の複屈折性と異なり、等方的な膜材料からも、柱状構造やアモルファスな構造の膜で異方性すなわち複屈折性を持たせることが、特に斜蒸着や連続的な二元蒸着法で可能になります。これらの手法で実際に作成した様々な報告された柱状膜構造を、複屈折性の薄膜の構造の視点からじっくり眺めていこうと考えています。さらに次回以降では、柱状構造と明らかに異なるアモルファスな膜構造であっても、異方性や膜応力の発生原因についての柱状構造とアモルファスな膜とをつなぐ考え方で矛盾なく扱える点について、さらに検討を続けていきます。とりあず、今回は複屈折性という視点から、異方性の薄膜に関心のある方の参加を募ります。

2. 光学薄膜研究会 研究会 (13:15~17:00)

- ・受付 : 12:45~13:15
- ・部屋 : 地下2階ホール
- ・研究会 : 13:15~17:00
- ・定員 : 約 200名
- ・参加費 : 【会 員】 無料 (法人会員、個人会員)
但し、法人会員で3名/口を超える場合は
5,000円/人
【非会員】 5,000円/人

3. 懇親会 (17:00~19:00)

- ・受付 : 研究会受付時に同時にお申込下さい。
懇親会のみ参加者は懇親会開始前に受付いたします。
- ・参加費 : 4,000円/人
- ・場所 : 地下3階 ニュートーキョー

4. 【研究会プログラム】

4.1 代表挨拶 東海大学 室谷教授 (13:15~13:20)

4.2 『光反応を用いた多様な薄膜コーティングと応用展開』 (13:20~14:05)

(国) 産業技術総合研究所 副研究センター長 土屋 哲男 様

本講演では、光 MOD、レーザーCVD、レーザーアブレーション、レーザー転写など、セラミックス薄膜を多様な基材へ成膜可能な先進光反応コーティング技術を紹介します。

4.3 『若手の会の途中報告会』 (14:05~14:50)

若手の会 各グループリーダー

本公演では、2017年4月より活動を開始しました若手の会4グループの各リーダーより現状報告と今後の予定をさせていただきます。当日は活動に当たった課題や今後の進め方に関して、会場の皆様からも意見を頂戴し話し合いの場を準備させていただきます。

グループ1: 市場調査

グループ2: 光学ビギナー向けハンドブックの作製(製本)

グループ3: 研究会で決めた標準用語の作成

グループ4: 光学薄膜の欠陥事例集の作成

(休憩 14:50~15:05)

4.4 『光ディスク材料の物性評価と応用、

および高感度分光光度計開発について』 (15:05-15:50)

(国)産業技術総合研究所 電子光技術研究部門 上級主任研究員 桑原 正史 様

光の測定、応用を中心としたこれまでの研究開発について述べる。光ディスクの超解像再生機構およびその解明として高温熔融材料の屈折率測定、光ディスク材料を応用した光通信の光スイッチ素子の開発、最後に OD13 の測定を可能とした分光光度計の開発と標準化の必要性について述べたい。

4.5 『①スマホ／車載用小型組レンズにおける透過率計測

② 減反射拡散塗装部における拡散反射率計測

③ 平面基板における任意全反射／透過角度依存計測

④ 光学評価用 NIR 分光光源ユニットご紹介』 (15:50-16:35)

株式会社ラムダビジョン 代表取締役 清水 健彦 様

弊社においてはこれまでこれらの用途のレンズ単品における反射率評価装置をUV～NIR領域において多数納品してきている。特にレンズの曲面全体における中心だけではなく淵における反射率が計測できる装置として特徴を持っている。

しかし近年スマートフォンや車載レンズにおいては近年のブームに乗り、小型組レンズの開発／製造が進められており、弊社においてはこれらの組レンズ全体での透過率計測のテーマが増えてきている。

今回、小型組レンズでの透過率計測における計測例をご紹介します。

4.6 事務局からのご案内 (16:35-17:00)

***注：プログラムは、諸般の事情により変更する場合がございます。**

5. 参加申込：光学薄膜研究会 事務局 鬼崎 (info-otfse@otfse.org) 宛
メールにて

① 光学薄膜セミナー (小倉名誉教授) の申込有無：

② 研究会参加の有無：

③ 懇親会参加の有無：

④ 氏名、会社名、部署：

⑤ メールアドレス：

をご連絡ください。申し込み締め切りは、7月2日(月)です。

※出来るだけ早いお申込にご協力戴けますと助かります。

以下、ご注意とお願いです。

・申込は①～⑤すべてにご記載をお願いします。未記載がありますと確認連絡が必要と

なりますので、お手数ですが、事務局の負担軽減にご協力お願いいたします。

代表者がお申込の場合も全員分のご記載をお願いします。

- ・講演資料は、7月2日頃にHP 会員ページにアップしますので、前にプリントアウトしご持参ください。当日の印刷物配布は非会員の方のみです。

(非会員の方で当日参加されます方は、当日に白黒印刷の資料をお渡しします。)

以上

機械振興会館へのアクセス

〒105-0011 東京都港区芝公園 3-5-8

<http://www.jspmi.or.jp/kaigishitsu/access.html>

- ・東京メトロ日比谷線神谷町駅下車 徒歩 8 分
- ・都営地下鉄三田線御成門駅下車 徒歩 8 分
- ・都営地下鉄大江戸線赤羽橋駅下車 徒歩 10 分
- ・都営地下鉄浅草線・大江戸線大門駅下車 徒歩 10 分
- ・JR 浜松町駅下車 徒歩 15 分

